

シンポジウム テラヘルツ科学の最先端 V

招待講演者

●尾松孝茂（千葉大学）

「光の角運動量はテラヘルツフォトニクスを変えるか？」

●寶迫巖（NICT）

「テラヘルツ無線通信に適している周波数帯はどこなのか？ ～ デバイス、システム、および標準化の観点から ～」

●森田健（千葉大学）

「半導体結合共振器構造を利用したテラヘルツ波発生」

●河野孝太郎（東京大学）

「テラヘルツ波を用いた光計測および分光計測の天文物理学分野における最前線（仮）」

●菱田真史（筑波大学）

「テラヘルツ分光のソフトマター物理・生物物理への応用：水和と自己組織化」

●宮丸文章（信州大）

「金属構造を用いた空間的・時間的なテラヘルツ波制御のための光学素子」

●増田則夫（NEC ネットワークセンサ）

「テラヘルツ光源高出力化の取り組み」

●富士田誠之（大阪大学）

「フォトニック結晶と共鳴トンネルダイオードの融合とテラヘルツ応用」

●山口淳（パイオニア株式会社）

「電子デバイスを用いたテラヘルツイメージングシステムの開発」

●岡野真人（慶應大学）

「テラヘルツ偏光分光による黒色ゴム複合材料の研究：基礎物理と応用展開」

●小西邦昭先生（東京大学）

「3D プリンター・レーザー加工を用いて作製した 3 次元テラヘルツ光学素子」

●鈴木晴先生（近畿大学）

「テラヘルツ分光法で探る分子性固体の構造と物性」